



わたしが描く夢

遠藤 隼人 さん

北方小5年／迫町・山の内

笑顔を届ける運転士に

ぼくの夢は、電車の運転士になることです。4歳の頃に初めて電車に乗り、そのときの感動が今でも心に残っています。大きな車体が線路の上を力強く走り、窓の外の景色が山や田んぼから街に変わっていく様子が胸が高鳴りました。運転席に座る運転士がとてもカッコよくて、「ぼくも運転士になりたい」と思いました。

4歳の頃から新幹線の速さや駅名を調べ始め、9歳のときに初めて新幹線に乗りました。それから運転士になるために必要な知識や技術について調べました。電車の運転士は、乗っているお客さんを安全に目的地へ運ぶ大切な仕事です。そのために勉強をしっかりと頑張り、集中力や責任感を身に付けていきたいです。

いつの日か、自分の運転する電車で安心して旅を楽しんでもらい、たくさんの人を笑顔にする運転士になりたいです。そして、小さい子どもたちが電車に乗って「すごい！」と感じ、ぼくのように夢を持ってくれたらうれしいです。

よりそい半世紀

笑顔あふれ、心温まる日々

★知り合ったきっかけ、これまでのお仕事は

【輝雄】お見合いだね。結婚をきっかけに、妻のおじさんの左官屋で働くようになったんだ。

【のり子】私は家の農業を継いで、米とかセリなんかを作っていたよ。

★結婚当時の思い出は

【輝雄】2人で神奈川や富山を旅行したね。黒部ダムの景色が忘れられないなあ。

【のり子】旅行以外にも、この人が仕事先で桜やツツジが綺麗な景色を見つけると、一緒に見ようと連れて行ってくれたんだよ。

★現在の楽しみは

【輝雄】定年してから、妻に聞きながら自分でも野菜を作るようになったんだ。できた野菜をひ孫に送ってやると「びいじいちゃんのジャガイモ、おいしかったよ」って喜んでくれるんだよ。

【のり子】週に3回、ゲートボールの集まりに2人で顔を出していて、みんなに会いに行くのも生きがいだね。心も体も元気になって楽しいよ。



富士原 輝雄 さん(89)

のり子 さん(87)

迫町・永田／1959(昭34)年3月入籍

わが家のアイドル



木村 来煌 ちゃん(7カ月)

2025年2月26日生まれ
米山町・栗ヶ崎
麗央さんの長女

どこでも誰にでもニコちゃんマークのような笑顔を見せてくれます。初孫にジジババはメロメロ♡



菅原 拓 くん(1歳)

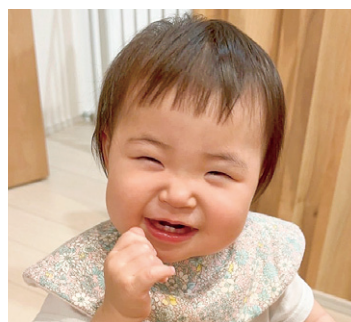
2024年9月4日生まれ
石越町・渋川
伸さんの長男

毎日元気いっぱい、好奇心旺盛です！これからもお姉ちゃんと仲良く過ごしてね。

小野寺 莉都 ちゃん(1歳)

2024年7月11日生まれ
中田町・冠木
一真さんの三女

いつも周りを笑顔にしてくれてありがとう。これからもお姉ちゃんたちと仲良く元気に育ってね。



星 陽和 ちゃん(1歳)

2024年9月30日生まれ
迫町・西館
和磨さんの次女

えくぼがかわいいわが家のおてんば娘。その笑顔に毎日癒やされます。これからの成長も、楽しみにしているよ！



「未来へつなげる農業」

柳 渕 泰孝 さん

米山町・的場



市民リレーエッセイ

私は生まれも育ちも純度100%の登米っ子！父の代から営んでいるいちご農家の2代目になります。

そんな私は、家業のイチゴ農家の他にも登米市4Hクラブという活動もしています。4Hクラブは市内の20～30代の若手農業関係者が中心となって、農業経営の課題解決の方法や、より良い技術の検討などを行っています。

活動の中で感じたことは「人は、1人では生きていくことはできない」「新しいことに踏み出す勇気が大切」ということです。支え合い、共に成長する。そして、諦めず、時には周囲とのつながりを頼りに、一歩踏み出す勇気を持つ。支え合いながら、困難を乗り越える。人と人とのつながりは、挑戦を支え、未来を切り開く原動力となります！

我々農家の熱意と地域を愛する人々との連携が生み出す農産物。それは、単なる食料ではなく未来への希望そのものだと思えます。伝統を守りながら新しい技術を取り入れ、未来へつなげる農業に取り組み、素晴らしく誇れるまち、登米市を盛り上げていけるよう頑張ります！

次号は、大友 久仁恵さん＝迫町飯屋＝へバトンをつなぎます